

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日：令和7年10月3日

事業者名：株式会社 片山製作所

| 三側面 | SDGsの達成に向けた重点的な取組み | 関連するSDGsゴール (最大3つ) | 実績 | 指標・目標 | |
|-------|---|-------------------------------------|---|-------|---|
| 環境 | 2030年までにCO ₂ 排出量を2024年（当社のBM）から46%削減を目指して設備更新やグリーン電力の導入等を進めている。 | ⑬気候変動に具体的な対策を、⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 2025年9月に福島県双葉郡富岡町にある富岡事業所の使用電力をグリーン電力に転換し電力のCO ₂ 排出量ゼロを達成した。 | 指標 | 二酸化炭素の排出量の削減 |
| | | | | 目標 | 2030年までにBM（2024年）の46%削減 |
| 社会 | 当社の規模では産業医の選任は不要となっているが、昨今の社会状況を鑑み、従業員の健康と福祉を考え、産業医を選任して毎月健康相談、指導を実施することにした。障がい者の雇用についても分け隔てなく雇用を行っている。 | ③すべての人に健康と福祉を、⑧働きがいも経済成長も | 2025年9月から産業医を選任し、毎月の健康相談、指導を行っている。当社はの障がい者雇用率は6%と高水準で、2024年にも1名雇用しているが特に目標値として設定はしていない。 | 指標 | 健康相談実施回数 |
| | | | | 目標 | 年間12回、24名を目標とする。 |
| 経済 | IT資産管理システムの導入により、管理工数の削減、費用削減に取り組んでいる。 | ⑧働きがいも経済成長も | 現在取り組んでいる最中で予測効果として管理工数が95%削減、委託費用35%削減見込みである。 | 指標 | IT管理工数削減 委託費用削減 |
| | | | | 目標 | 管理工数を2024年度70時間を2026年度5時間まで削減 委託費用2024年比で2026年に35%削減 |
| ガバナンス | <p><input checked="" type="checkbox"/> SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載></p> <p>SDGs担当部署、担当者を設定し、目標の設定から改善案の立案、計画を行っている。</p> | <input checked="" type="checkbox"/> | SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 当社ホームページのSDGsのページのURLです。 https://www.katayama-corp.co.jp/company/sdgs/ | | |
| | | | | | |